

(様式第1号)

平成24年度 第1回 芦屋市健康増進・食育推進計画策定委員会
会議録

日 時	平成24年4月24日(火) 午後13時30分～
場 所	芦屋市保健福祉センター3階会議室
出席者	委員長 立花 久大(兵庫医科大学病院教授) 副委員長 野田 京子(芦屋栄養士会 会長) 委員 溝井 康雄(芦屋市歯科医師会 監事) 進藤 昌子(芦屋市民生児童委員協議会副会長) 里村 喜好(芦屋市社会福祉協議会常務理事兼事務局長) 上坂 泰代(芦屋いずみ会 会長) 波多野 正和(芦屋市商工会 事務局長) 岡野 東子(市民委員) 土居 郭子(市民委員) 美濃 千里(兵庫県芦屋健康福祉事務所健康参事兼地域保健課長) 北野 章(教育委員会学校教育課長) 津村 直行(保健福祉部参事) 事務局 北口 泰弘(保健福祉部健康課長) 瀬戸山 敏子(保健福祉部主幹(保健担当課長)) 田中 佐代子(保健福祉部健康課主査) 牧田 知子(保健福祉部健康課技師) 辻 彩(保健福祉部健康課技師) 鍋田 裕子(保健福祉部健康課技師)
事務局	保健福祉部健康課
会議の公開	公開
傍聴者数	0人

1 会議次第

- (1) あいさつ
- (2) 委員委嘱
- (3) 委員及び事務局の紹介
- (4) 委員長, 副委員長の選出
- (5) 議事

2 提出資料

- (1) 第2次芦屋市健康増進・食育推進計画策定の基本的な考え方
- (2) 計画策定までのスケジュール
- (3) 計画策定のためのアンケート調査票について

3 審議経過

<開会>

【事務局北口】定刻も少し過ぎていますが、開会させていただきます。

本日は、お忙しいところ、健康増進・食育推進計画策定委員会にお集まりいただきありがとうございます。私は、事務局を勤めさせていただきます、健康課長の北口と申します。よろしく申し上げます。

本市では、妊娠・出産期、乳幼児期から高年期までのライフステージごとの健康づくり、食育活動の施策を総合的、計画的に推進するために平成21年7月に「芦屋市健康増進・食育推進計画」を策定、スタートしたものでございます。

この計画は平成21年度を初年度とし、平成24年度を目標年度とする4年間の計画となっています。本年度の24年が最終年度となっていますので、計画の進捗状況の把握や評価を行い、次期の芦屋市健康増進・食育推進計画を策定しようとするものです。委員の皆さまからの貴重なご意見、提案をいただきながら、素晴らしい計画ができればと考えています。

【立花委員長】ただいま、委員長に推薦いただいた立花です。

僭越ではありますが、この一年委員長として司会役として、委員会を運営させていただきたいと思っております。皆さまの活発なご提案、貴重なご意見をなにとぞよろしく申し上げます。

【野田副委員長】力不足ではありますが、一生懸命、先生の力になりたいと思っております。よろしく申し上げます。

【事務局北口】議事に入りたいと思っております。立花委員長、議事の進行をお願いします。

【立花委員長】早速議事に入らせていただきます。

(1) 第2次芦屋市健康増進・食育推進計画策定の基本的な考え方について、事務局から説明をお願いします。

【事務局瀬戸山】(基本的な考え方について説明)

【立花委員長】今の説明に、コメント、ご質問等ありますか。

芦屋では乳がんの検診率が低くなっていると書いてありますが、検診の受診率はどうに調べるのですか。

【事務局瀬戸山】対象者数と受診者数でだします。2年に1回なので・・・

【事務局北口】対象者をどう把握するかが難しいので、各市でまちまちの考え方があります。今回、兵庫県が対象者の数値の出し方を統一して示したことにより、各市の受診率を県が発表しています。兵庫県内で胃がん検診が最下位で、乳がん検診については、平均よりも下がっているということです。大腸がん検診や、肺がん検診については、上位に来ており、子宮がん検診についても平均以上となっています。受けていないかということそうではなく、職域や人間ドッグを受けられたという方がたくさんいるのではないかと分析していますが、調査をしたことがないため、率としては最下位となっています。

【立花委員長】他にどなたかご質問はありますか。

【溝井委員】高齢者の死亡について、1位はがんですが、2位に循環器系疾患や誤嚥性肺炎で亡くなるケースがあるかと思っております。それについては、どのように理解していますか。

【事務局瀬戸山】死亡の死因順位ですが、「がん」「心疾患」「脳血管疾患」「肺炎」の順で、兵庫県の平均と芦屋市は同じような状況になっていると思っております。「心疾患」「脳血管疾患」あたりは、生活習慣病予防というところで重要なところだと考えてい

ます。

【溝井委員】誤嚥性肺炎については、ワクチンを打たれた方については、死亡するケースはほとんどないというデータが出ています。誤嚥性肺炎は食育とすごく関係があると思います。特に高齢者の食育と関係あるにもかかわらず、芦屋市の対応はまずいと思います。

【事務局北口】高齢者の肺炎球菌ワクチンは、県内でも行政が始めているところがあるものの、財政状況等を鑑みますと、特に高齢者の部分ではインフルエンザワクチンも助成という形のみであり、子どものワクチンの助成が始まっているということで、財政的に経費がかかっており、高齢者までいけていない状況です。

【溝井委員】ワクチンの効果があるという実績が出ているので、もう少し親身にアピールするような形をとっていかないといけないのではないですか。

【事務局瀬戸山】高齢者インフルエンザの時期に、インフルエンザのポスターの中に「肺炎球菌ワクチンがあるので、ご希望の方は主治医に相談ください。」という一文を入れて、アピールに努めています。

【立花委員長】テレビで紹介していますね。

【事務局北口】問い合わせもたくさん来ました。

【事務局瀬戸山】薬品会社で平成23年度に、語呂合わせみたいですが、23年度に23価ワクチンを打ちましょうということで、テレビ放映やポスターでアピールしていました。芦屋市はなぜしないのかというような問合せもありましたが、厚生労働省ではなく薬品会社がやっているPRですと説明しました。

【溝井委員】上位計画である「健康日本21」が延長されたということですが、歯科保健の立場から、歯科口腔保健推進する法律というものは、昨年8月11日に95条で交付され、実態として3月を目処に15項目に渡り交付されたということです。地方公共団体の責務も定められるということで、頭に入れていただかなければいけないことだと思います。対応していかねばいけないことが出てくると思います。

【立花委員長】他にだれかご意見などありませんか。

【野田副委員長】9番で芦屋の現状とありますが、基本的な策定をつくる考え方の中に、特徴を出していった方がいいのではないかと思います。現状活かした基本的な考え方を、新しく作っていく場合には考えてほしいと思います。芦屋市の現状を踏まえながら基本的な考え方を持っていただくと、皆さんが元気な芦屋ができるのではないかと思います。

【事務局瀬戸山】芦屋市の現状は充分含めた形で策定をしていきます。前回は国保の医療費が非常に簡単でした。計画の中に医療費の推移を少し載せましたが、もう少し詳しく載せていきたいと思います。特定健診が始まっていますので、その内容についても少しは入れておきたいと思います。

【立花委員長】他には特にありませんか。

基本的な考え方についての、感想は以上にしたいと思います。

次に計画策定までのスケジュールについて、説明をお願いします。

【事務局北口】(スケジュールについて説明)

【立花委員長】ありがとうございました。スケジュールについてご意見等ありますか。

【里村委員】アンケートは市独自で行っていますか。統計の集計はコンサルを使いますか。

【事務局北口】発送から、集計から分析まですべてコンサルで行なってもらいます。

【立花委員長】他に何かないようでしたら、計画のスケジュールに従って1年よろしくお願

いします。次に参ります。

計画策定のためのアンケート調査票について事務局から説明をお願いします。

【事務局瀬戸山】(アンケート調査票について説明)

【立花委員長】ありがとうございました。ひとつひとつ皆さんに聞いていきたいと思ひます。

1ページ目「回答者自身について」のところでは何かご意見などありますが。

【土居委員】数限られた3,000人なので、ぜひとも出してほしいということをはじめて持つてくると、早めに答えて出そうという意識になるのではないかと思ひます。デザインや文章のつくり方で検討していただければと思ひます。

「記入に当たって」のところでは、「3 当てはまる番号を で囲んでください。」と、箇条書きの最初の が同じ形だったので、「 で囲んで」を強調したい場合は箇条書きの部分を など他の記号にしたほうが分かりやすいと思ひます。

【里村委員】番号に をつけてもらいたい主旨なので、強調した方がいいということと、下の電話ですが、文章で聞きたいことがある場合もあるので、FAX番号も載せておくといいのではないのでしょうか。

【上坂委員】前回実施したアンケートと別個のものですか。

【事務局北口】送る人は別になりますが、もしかしたら同じ人に送られるかもしれません。

【上坂委員】同じ人に送付した場合、前回との違いが分かるかと思ひます。

【事務局北口】難しいかと思ひます。4月1日現在の住民の方から無作為に抽出しています。

【立花委員長】前回の回収率は何%ですか。

【事務局瀬戸山】46%くらいだったと思ひます。

【立花委員長】簡単ですが、長いですね。

【事務局瀬戸山】前回は50問なのが、今回は56問になっており、少し増えています。

【岡野委員】無作為はどのような情報ソースから選んでいますか。

【事務局北口】4月1日現在で住民票のある方から選んでいます。無作為といっても、年代に合わせて率を変えています。機械上で処理していますので、故意に操作できません。

【進藤委員】無作為に選ばれた3,000人の根拠は何ですか。

【事務局北口】このようなアンケート調査をする場合、3,000人くらいの方を対象にすれば、ある種統計上、有意義な数値が出てくると言われています。

【立花委員長】他にありませんか。それで1ページ目はこれで終わりにして、次に「回答者自身について」のところはいかがですか。

【土居委員】指標や新規はアンケートのときは抜きますか。

【事務局瀬戸山】説明をするために使いましたので、アンケート時は抜きます。

【溝井委員】年齢ごとの人数がわかるのですよね。

【事務局瀬戸山】割合を出しています。

【立花委員長】2頁目はいかがですか。

【溝井委員】食育に関して、趣味の講座で話をさせていただいた中で、今回参考にさせていただいたところもあります。年代的な楽しみ方で、20代は物欲が多いけれど、年齢が上がると食の楽しみになると言われています。そのようなことも中に入れることができれば年齢との比較ができ、おもしろいのではないかと思ひます。

【立花委員長】具体的にはどのようなことですか。

【溝井委員】楽しみ方なので、「旅行に行く」「スポーツをする」「読書」などです。

【立花委員長】食育とずれると思ひますが。

- 【溝井委員】そこに食を入れることで、年齢的な統計が取れると思います。ご検討ください。
- 【波多野委員】入れ方が難しいと思います。実際にどのような書き方をするか具体的なものが必要だと思います。
- 【野田副委員長】自分の生活の中でどれくらい食事に関心があるかを聞いて、食育に関してどれだけ関心があるかというのは、引き出し方としてはいいアイデアだと思います。
- 【溝井委員】スタートラインだと思います。
- 【野田副委員長】関心のある方と、ない方の集計の取りかたは難しいかと思います。
- 【溝井委員】スタッフの若い子は食事にお金を使わず洋服やブランド物が買いたいようです。食に対してあまり関心を持っていません。一番関心を持ってもらいたい年齢の人に関心を持ってもらえません。
- 【事務局瀬戸山】問20に「あなたは食育に関心がありますか」という問があります。その問を先にもってきたらどうですか。
- 【立花委員長】問8の前に関心があるかを聞くということですか。
- 【波多野委員】問8の前に関心があるかと入れるということですか。
- 【立花委員長】食育なので、問9に食生活で気になることをいろいろ書いていますが、ひとつ「食生活にあまり関心を持っていない」という項目を入れると、若い方などは、示すことがあるかもしれません。
- 【波多野委員】関心があるかという項目であれば、「多いにある」「あまりない」「全然ない」などの選択肢を入れることができますが、問9に入れたらひとつしか回答ができません。
- 【野田副委員長】食に関心があるかと聞かれることと、食育に関心があるかと聞かれることはニュアンスが違うと思います。
- 【立花委員長】食生活に関心があるか、というようにすればいいと思います。食育という言葉は、一般の人は何かと思うでしょう。
- 【事務局北口】「あなたは食生活について関心がありますか」として、「関心がある」「関心がない」という選択肢をつければいいということですね。
- 【事務局瀬戸山】「非常に関心がある」「どちらかといえば関心がある」「あまり関心がない」「まったく関心がない」という選択肢とします。
- 【野田副委員長】問7の職業の区分けは、分け方があるのですか。何か意図がありますか。
- 【事務局北口】細かくすることはできますが、前回に合わせているだけです。
- 【立花委員長】僕はその他になります。2ページについて、他にどなたかありませんか。
- 【溝井委員】問20が最初にくるのですか。そのままですか。
- 【事務局瀬戸山】問20は、食育についてなので、いれかえません。
- 【進藤委員】8番に食育について問がありますが、上に食育についてと大見出しがあるので、問19の「食育という言葉を知っていますか」という問を先に持ってくるほうがいいのではないですか。
- 【津村委員】最初に食生活そのものを聞いて、次に食育について聞いているので、順番は変えないでタイトルに食育を入れず、やわらかい表現にしたほうが流れはスムーズだと思います。
- 【立花委員長】タイトルを「食について」にして、その下に食生活についてとします。問8は「あなたは食生活に関心がありますか」でいいですね。あとは、そのまま

続いていくということにします。

【美濃委員】問9について、「気になっていることはありますか」という問に対して、選択肢は統一性があるほうがいいと思いますが、何か比較があるのでしょうか。

【岡野委員】食べる量だと、その方が食べる量が少ないことを悩んでいるのか、多いことを悩んでいるのか分からない感じがします。

【美濃委員】偏りはバランスということになると思います。

【野田副委員長】違う意味で選ぶ人がいると集計的にはっきりした数字にならないと思います。

【立花委員長】どのように、変えますか。1は栄養バランス・・・

【岡野委員】意識の問題と、行動の問題の両方が考えられるので、統計的に難しいかと思えます。

【津村委員】気になっていることなので、要因的には特におかしいと思いません。食生活の状況を聞いているので、気になっていることはありますかという聞き方が、設問と、読んで考える内容に違いが出てくると思います。食生活の傾向を聞こうとしていると思いますが。

【事務局北口】食生活について、問題だと思っているところを聞いているので、このような表現になっています。選択肢の表現を分かりやすくする必要はあると思います。

【立花委員長】決めてしまいますか。1は栄養バランスの偏り、2は野菜不足、3は塩分の取りすぎ、4から8はそのままいいですね。9はどうしますか。

【野田副委員長】弁当については、自分で作っている場合もあります。中食については意味が分からない人がいると思います。

【立花委員長】10食品の成分表示、11食の安全、あとはこのページはいいですか。次の3ページをお願いします。

【北野委員】問11、13について、選択肢が「毎日」から「食べない」までありますが、週1回は網羅していません。問15は、週1回と聞いています。聞き方のわけ方ですが、網羅なくいくのか、問13のように毎日、4、6、2～3、食べないという分け方で行くのか、問14と問15でも一貫性がないように感じます。

【立花委員長】問13は、なぜ、2～3ですか。

【事務局瀬戸山】国、県の指標で決まっています。

【北野委員】国、県の指標で抜けていることは知っています。問15については、週1回を聞いています。問14については3つの選択肢でしか聞いていません。この辺を統一するのかどうかだと思います。

【事務局北口】週1回という人は、あまり食べないという分類になるだけだと思います。

【里村委員】頻度の聞き方の問題ですが、問15、16の場合、食事は朝、昼、夜と3食あります。働いているときには、昼は外食だったりしますが、高齢の場合など、ずっと家に居ても3食とも外食や惣菜などの人もいます。答え方の度合いが難しいと思います。

【立花委員長】里村さんだったらどこに をつけますか。

【里村委員】昼は毎日なので、ほぼ毎日になります。

【立花委員長】3食とも外食の人と、一日1回外食の人と同じ分類でいいのかということだと思います。一日1回の人と、毎食の人と差があるかということです。

【事務局瀬戸山】問15も16も指標ではないので・・・

【野田副委員長】問16については、昼、夜などを決めたらどうですか。漠然として外食が多

いとなると、結果をどのように利用していくのか疑問なので、限定してもいいと思います。何をもち、指導に持っていくかを考えていく必要があると思います。

【事務局瀬戸山】夕食にしますか。

【津村委員】それぞれの年代によって違うと思います。主婦のランチやサラリーマンなどは、昼に外で食べることがあると思いますが、外食という認識にならないと思います。市民の方に外食はしますかと聞いたときに、週1回しますと回答があれば、家族でどこかに行くことを指すと思います。その人の感覚で答えていただくことが、一番いいような気がします。そこまで厳密に捉えるべきものかどうかだと思います。

【立花委員長】週2～3日については、どうしますか。そのままいきますか。

【事務局瀬戸山】前回の質問と同じ基準にしています。問15の調理済みの食品を毎日摂るかという回答では、男性は31%毎日という回答がありました。外食や調理済みの食品が少ないのは高齢者で、半分以上利用していないと回答しています。

【立花委員長】それでは、これでやっていくということでいいですか。

次のページにいきたいと思います。

【里村委員】7ページ、問26と27の番号の振りが逆になっています。

【立花委員長】8、9ページはいいですか。10ページはどうですか。

【里村委員】問38 歯の健康について、説明では指標でこの項目を入れたということですが、60歳で24本と言う表現があります。昔、80歳で20本という考え方がありましたが、今もその考え方が生きていますか。

【事務局瀬戸山】はい。60歳で24本持っていれば、80歳で20本を持つことができるのではないかと考え方は。

【里村委員】問43の影響を与えるものの項目の中に、睡眠を入れてほしいのですが。

【立花委員長】他にはいかがですか。

【溝井委員】歯医者者の立場で言わせてもらいます。高齢者になると、唾液の出がすごく悪くなってきます。また、かむ力についても、すごく衰えてきます。そのことについて入れることができればと思います。ブラッシングについても、全身の疾患に対する予防になると思います。歯を掃除するだけではありません。インフルエンザについても、うがいだけでなく歯をブラッシングすることで罹患率が減少しているというデータが出ています。歯科に関してさみしいかと思ひます。食の入り口に当たるところなので、内容をもう少し深めていただきたいと思います。

【溝井委員】事務局に検討していただきたいと思ひます。表情筋の運動などアンチエイジングに関することも本当は入れたいと思ひます。

【立花委員長】最小限でお願いします。

【野田副委員長】問41について、全身について知っていることは、とろいろ書いてありますが、不安をあたえないでしょうか。

【溝井委員】捉え方としては、そのように捉えていただいたほうがいいと思ひます。

【立花委員長】どきどきしたほうがいいと思ひます。

【事務局瀬戸山】知識として知ってもらおうという意味があります。

【美濃委員】問43ですが、環境を整えることや対策を講じることに繋がると思ひますが、1の遺伝は、位置付けについてどのように受け止めればいいか説明をしていただきたいと思ひます。必要でしょうか。

【立花委員長】思っている人がいる場合、選択肢として必要だと思ひます。

【津村委員】その他のあとに記入欄を設けるといいと思います。

【立花委員長】11ページはいかがですか。

【事務局瀬戸山】問46の選択肢の番号を訂正してください。

【立花委員長】「脳卒中、」とありますが、脳卒中や脳梗塞という意味か、脳卒中すなわち脳梗塞などという意味ですか。脳卒中（脳梗塞などの脳血管疾患）という表現でいいと思います。

【立花委員長】他になければ、12ページから15ページはいかがですか。
大体よろしいですか。

その他について何かありませんか。

【溝井委員】NPOの口に関するカウンセリングコーナーがあります。ホームページもあります。食育に関して大々的に行なうことが決まりましたので、皆さん方も見ていただければと思います。また、山武保健所の摂食・嚥下指導マニュアルがあります。ホームページにも載せていますので、見てください。

【立花委員長】他にありませんか。

第1回健康増進・食育推進計画策定委員会を終了します。

次回日程

<閉会>